

## 令和4年度対エルサルバドル共和国 草の根・人間の安全保障無償資金協力 「サカテコルカ市アニマス・アバホ村飲料水供給計画」 引渡し式の開催



2024年7月4日、星野芳隆駐エルサルバドル日本国大使は、ラ・パス県東ラ・パス市（旧サカテコルカ市）のマルセラ・ピネダ市長、ワールド・ビジョン（NGO）のケネス・リベラ代表、アニマス・アバホ村村落開発協会（被供与団体）のマベル・デ・ロス・アンヘレス・メヒア会長及び裨益住民とともに、「サカテコルカ市アニマス・アバホ村飲料水供給計画」の引渡し式に出席しました。

本件を実施する以前、対象地域内にあるアニマス・アバホ村初等学校のグロリア・メラニー・ポルティージョ・アマヤ校長は、毎朝通勤時に自宅から学校まで子供達の飲み水を運んでいました。対象地域にも学校にも、子供たちが安心して飲める水がなかったからです。

とは言え、ポルティージョ校長の自宅にも上水道施設はなく、近所まで売りに来る水を買って、その水を学校まで運んでいたのです。（勿論、これは子どもたちのことを想った校長先生の自主的な活動です。）



在エルサルバドル日本国大使館の実施する草の根・人間の安全保障無償資金協力プログラムによってアニマス・アバホ村に設置した上水道施設の裨益を受けるのは、対象地域に住む123世帯と小学校2校となります。

「我が家に衛生的な水を引くことができ、幸運に思っています。お陰で家事にかかる時間を大幅に減らすことができました。また、小さな家庭菜園を始め、そこで採れた野菜を食べることができるので、家計に役立っています。本件にご支援くださった日本のみなさまに対し、心から感謝しています。」

アナ・アラセリ・ビジャルタさん  
(受益者)

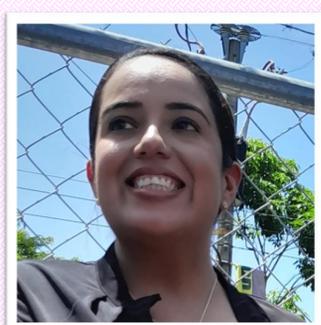


本件に要した総事業費は220,518.10米ドル。うち、日本政府は147,930米ドルの無償資金協力をを行い、ポンプ小屋建設や井戸へのポンプ設置、10km以上に渡る配水管網の整備に役立てました。また、旧サカテコルカ市（現・東ラ・パス市）は、詳細計画の策定や電気接続工事、広報費として11,868.61米ドルを負担し、ワールド・ビジョンは、6,631.39米ドルに相当する電気接続のための建設資材を供与しました。裨益住民のみなさんは、工事における簡易役務に従事した他、各戸レベルの止水栓及び水道メーターの設置費用として10,500米ドルを負担しました。（この簡易役務は、換算すると43,588.10米ドルに上ります。）

また、事業終了後も長期間に渡って上水道施設を適切に運営・維持管理できるよう、被供与団体は研修を受けました。



駐エルサルバドル日本国大使  
星野芳隆



東ラ・パス市長  
マルセラ・ピネダ

人が生活するには、電気やガス、近年では恐らくインターネットが必要不可欠となっています。しかし、最も欠かせないものは、安全な水です。

日本は地震国ですが、地震による災害時、被災者のため真っ先に確保しなければならないものは、飲料水です。

日本政府は、1990年に草の根事業を当国で開始して以降、アニマス・アバホ村の案件を以て129件の飲料水案件に協力し、以前は水へのアクセスを持たなかった17万人以上の方々が水の恩恵を受けるようになりました。

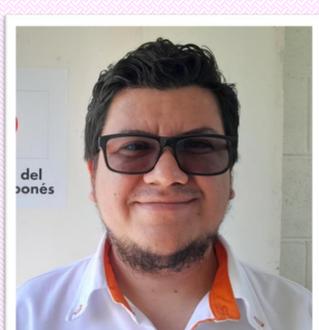
本件の完了を待つことなく、昨年逝去された被供与団体の前会長ファン・ペニャ氏に対し、敬意と追悼の意を表します。

長い道のりを経なければ、何事も成就できないものです。重要なことは、その最初の一步を踏み出すことです。アニマス・アバホ村のみなさまは、水を得るために重要な一步を踏み出し、本日は道のりのゴールに到着したことを祝う日です。この村のみなさんにとって、本プロジェクトは命にも代えがたいくらい重要な事業です。そのような事業に協力いただいた日本大使館や関係機関に対し、感謝申し上げます。

東ラ・パス市として引き渡し式に立ち会うことができ、光栄です。今後とも、この村のみなさまと一緒に二歩、三歩目を踏み出したいと思います。



アニマス・アバホ村村落開発協会会長  
マベル・デ・ロス・アンヘレス・メヒア



ワールド・ビジョン代表  
ケネス・リベラ

アニマス・アバホ村に上水道施設を整備するという素晴らしいイニシアティブにワールド・ビジョンとして参画することができ、非常に光栄です。コミュニティに飲料水を確保することは、対象地域住民の健康を促進し、教育や家計の改善につながり、その中心的受益者は子どもです。アニマス・アバホ村のみなさまの努力、また関係者のみなさま、特に日本大使館からの協力の敬意を表します。

15年以上の努力を積み重ねてきた上水道施設が完成し、村を代表して挨拶する機会を持って、感無量です。日本大使館からの協力のおかげで、飲料水を各家庭に引くことができました。この間、協力くださった関係者のみなさまから感謝申し上げました。特別なことでもありません。本事業を達成するために協力いただいた関係者のみなさまに、改めてお礼申し上げます。